

付表 1.1 標準モデルに使用した発電機定数

項 目	NGT = 2 (主として 大容量火力機用)	NGT = 6 (主として 大容量原子力機用)	NGT = 8 (主として 大容量水力機用)
d 軸同期リアクタンス (X_d) [pu]	1.70	1.70	1.20
q 軸同期リアクタンス (X_q) [pu]	1.70	1.70	0.72
d 軸過渡リアクタンス (X_d') [pu]	0.35	0.38	0.35
d 軸次過渡リアクタンス (X_d'') [pu]	0.25	0.28	0.26
q 軸次過渡リアクタンス (X_q'') [pu]	0.25	0.28	0.26
d 軸過渡時定数 (T_d') [s]	1.00	1.50	2.60
d 軸次過渡時定数 (T_d'') [s]	0.03	0.03	0.05
d 軸次過渡時定数 (T_q'') [s]	0.03	0.03	0.05
電機子時定数 (T_a) [s]	0.40	0.40	0.30
電機子漏れリアクタンス (X_L) [pu]	0.225	0.252	0.234

(注 1) NGT は Y 法の発電機定数タイプを表す。

(注 2) リアクタンス値は発電機自己容量ベースの pu 値を表す。